

令和2年度第2回島田市地域包括支援センター運営協議会における委員からの質問・意見への回答

		質問・意見	回答
1	議題1 (質問)	六合と初倉はR2年度に統合されたようですが、事業については地区ごとに行うとなっていました。R3年度は2センター合わせた職員配置となっていますが、事業はどうなるのでしょうか。	六合・初倉地域包括支援センターについては令和2年度と同様、地区ごとに事業を実施していきます。
2	議題1 (意見)	人員配置の状況から今回の運営体制となることについては最善の対応かと思えます。ただ、高齢化率が市内でも一番高い地域ということ、コロナ禍による外出控えによる地域活動の減少などで潜在的に支援が必要な声が今後増加していくことが予想されます。両センターにおいて、訪問や相談に対応することが迅速に行える様に推進課におかれましてもバックアップをお願いできればと思えます。	ご意見ありがとうございます。川根地区についてはサブセンターではありますが、職員を常駐させ相談対応等に支障がないよう努め、地域包括支援センターが円滑に業務を行えるよう、引き続き取り組んでまいります。
3	議題1 (意見)	川根地区の支援センターのサブセンター化について川根地区は高齢化比率も非常に高いこともあり、常駐の保健師がいなくなることも考えられますので、できることならば従来のかたちが良いと思えますが、専門職の確保が困難ということであれば致し方ないかと思えます。ただ、高齢者が安心して生活できるようにサービス等の低下に繋がらないようご尽力をお願いしたいと思います。	
4	議題1 (意見)	川根地区は今後高齢化率がどんどん高くなっていくと思われれます。地域包括支援センターの活用も増え	

		<p>ると思います。サブセンター化したことで支援に支障がないよう運営して行ってほしいと思います。</p>	
5	議題2 (質問)	<p>Q60の「わたしのプラン」の活用が、全包括支援センターにおいて「×」でしたが、何か理由があるのでしょうか。「今後行っていく」という回答ですので、今後に期待いたします。</p>	<p>「わたしのプラン」は高齢者の居場所などの地域活動への参加を推進するためのものです。デイサービスを卒業し、地域活動へ移行する際に計画書を作成し、地域包括支援センターが関わることで丁寧につなぐために使用するプランです。デイサービスを卒業して、実際には地域活動に繋がっている場合も、福祉用具やヘルパーなどのサービスを必要とする場合があります。その場合は「わたしのプラン」の対象外となるため、活用にいたっていません。また、コロナの影響で地域活動が縮小していることも影響していると考えています。</p>
6	議題2 (質問)	<p>全包括で「わたしのプラン」の活用がなかったとのこと。「わたしのプラン」とはどのようなものなのか、また今後活用されることを期待します。</p>	
7	議題2 (質問)	<p>第二中学校区地域包括支援センターの事業実施評価票の具体的な取り組みの項で、新規立ち上げ：旭町(9月)・千葉(11月)となっているが、「旭町しまトレ」は平成31年1月30日付け公認証を受けているので、令和2年度の評価とすることは疑問である。</p>	<p>事業実施評価票の具体的な取り組み内容は年度当初に計画したものになります。実績に実際行った内容を記載しています。様式が分かりにくく、申し訳ありませんでした。</p> <p>第二中学校区地域包括支援センターは旭町に2カ所目のしまトレを立ち上げる計画をしていましたが、新型コロナの影響で、2カ所目のしまトレは立ち上がりせず、新田町と旗指にそれぞれしまトレが立ち上がりました。実績の新規2カ所は新田町と旗指のことです。</p>
8	議題2 (質問)	<p>地域ケア会議の47で令和2年度の地域課題から政策を市に提言したことは何か。教えていただけるとありがたいです。そして、その結果市は動いているかも知りたいです。それらの経過や結果がどこかに表示されているなら、どこに表示されているか教えてほし</p>	<p>地域ケア会議での市への提言は以下の6件でした。対応については検討中です。</p> <p>(1) インターネット回線を利用したテレビ電話などによる安否確認や相談対応等が行える事業の実施と購入費の補助。</p>

		<p>いです。包括の日々の努力が目で見えてわかるものがあるればよいと思います。</p>	<p>(2) 高齢者みまもりネットワーク事業で地区ごとの連絡会を行うなどの、事業の充実。</p> <p>(3) 緊急医療情報キットの提案。</p> <p>(4) 高齢者の車両運転について地域で学習する場を検討していくが、その際助言や講話の協力をお願いしたい。</p> <p>(5) 特定健診のように軽度認知症の方が把握できるチェックリストがあれば早く介入でき、支援に繋がる。</p> <p>(6) 包括支援センターから要請があったときは早めに虐待コア会議を開催してほしい。</p>
9	<p>議題2 (質問)</p>	<p>令和2年度はコロナ禍で中止せざるを得ないことが多かったと思います。いっそう孤立しがちな状況の地域の高齢者に向けて、今後の取り組みの方向性はどのようになりますか。中止したものの再開だけではなく、新しい見守りの方法の開発などにつながっていきませんか。</p>	<p>地域活動についてはすべて中止ではなく、感染症対策に注意しながら行ってもらっています。新型コロナウイルスは今後ワクチン接種開始も踏まえ、小規模での実施など開催方法を工夫して活動してもらおうようにしています。</p> <p>地域包括支援センターの業務は感染状況を見ながら業務を計画していますが、地域に出ることのできない高齢者へは電話や訪問で対応させていただいています。</p>
10	<p>議題2 (意見)</p>	<p>令和2年度は新型コロナ禍の中、包括支援センター各職員の方が自身と高齢者に対し、感染防止をしながら対応に当たり、ご苦労されたと思います。その中で業務チェック・実施評価票の地域での取り組み提案等や高齢者・相談者や民生・自治会等への対応と連絡・報告と多くあり、感染リスクの恐れの中、仕事とはい</p>	<p>ご意見ありがとうございました。感染症対応を行いながら、地域包括支援センターの通常業務が滞らないよう、包括ケア推進課も支援を行っていきます。</p>

		え頭が下がる思いです。職員の方々への労を労っていただければと思います。	
11	議題3 (意見)	<p>(1)の高齢者を地域で支える体制づくりについて</p> <p>日本は今後少子化が進み、高齢者の比率がますます増加していくことが考えられます。そんな中、高齢者は自らが自分の役割を認識し、支えられる高齢者から支えあう高齢者となり、地域社会の担い手として、様々な課題の解決に努力していかなくてはならないと思います。そのためには地域包括支援センターも社会教育関係との連携を高め、地域団体などとの協力をいっそう深めて、高齢者自らが地域社会に貢献できる体制づくりに努めていただければと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。地域、関係機関との連携を今後も深めていきます。</p>